

プログラムの概要

消化器内科は光学医療診療部、肝疾患センターも担当しております。消化器疾患は最も頻度の高い疾病であり、常時約50名の患者さんが入院されています。症例は多彩で、いわゆるcommon diseaseから、一般病院では経験することの少ない稀な疾患まで受け入れています。内科的な全身管理はもとより、高度な専門的医療まで幅広い研修が可能です。後期研修の一環として、希望により国内有数の医療機関と連携した研修を行っています。研修医一人ひとりの希望を考慮いたしますので、是非ご相談下さい。

アピールポイント

最先端の技術・設備・環境による診療

最新の診療機器はすべて整備し最先端の診断・治療を行っております。特に消化管癌の内視鏡治療、肝癌のラジオ波治療、胆管癌のステント治療など消化器癌の内科的治療に力を入れ全国有数の実績を上げております。

全国トップレベルの診療・研究成果

大学病院の役割・魅力は市中病院では全く不可能な最先端医療と研究の両者を実践できることです。私たちは厚生労働省研究班の主任研究者施設(ウイルス性肝炎の病態に応じたウイルス側因子の解明と治療応用)として全国の大学と共に最先端の設備と技術で研究を推進しております。山梨大学医学部は地方都市にある歴史の浅い新設医科大学ですが、若い我々が力を合わせれば歴史のある大都市の大学病院や有名病院を圧倒する成果が出せるのです。

若手のキャリアアップに全力投球

消化器内科ではBCC,ACCから初期研修、後期研修へとシームレスな教育体制を構築しています。初期研修では消化器内科に興味がある人だけでなく、将来は他の科に進む予定でも多くのことを学べる研修を目指しています。消化器内科で経験できるEPOC症例のリストを作成し、効率よく学べるようサポートしています。また、腹部超音波や上部消化管内視鏡を実際に使う機会を確保しています。消化器内科で経験する多彩な救急疾患を学ぶための研修も用意しています。

Men and women for others with others

消化器内科の診療はひとりでできるものではありません。同僚、先輩、後輩の医師だけでなく、看護師や検査技師、その他病院にいるすべてのスタッフと一緒に一丸となることで、相乗的に医療に貢献できます。消化器内科が求めている人材は「医療に誠実であること」です。ともに協力し合って、良い医療を提供し、山梨の消化器診療を支えていくチームの一員として初期研修に参加してくれる皆さんを心よりお待ちしております。

具体的な研修内容

研修期間

1年目は、内科研修の中で4週間、消化管疾患、胆管疾患および肝疾患の診療グループのいずれかに所属して患者を担当し、研修を行います。2年目は自由選択期間で異なるグループを選択して、消化器全般にわたり研修するなど個々の希望する専門研修やキャリアプランに合わせた選択も可能です。

研修内容

消化管、胆道・膵、肝臓の各チームに所属し、常時、入院患者数名の主治医として診療に参加します。診療に際しては、専任の指導医がついてマンツーマンで親身に指導し、指示、検査、処置、治療のすべての診療を担います。また、種々のカンファレンスを通じて専門医療についても研修します。腹部超音波は独自のマニュアルを作成し、研修期間中にスクリーニング検査の基本を習得できるよう、シミュレーターや実際の検査で学ぶ機会を設けています。希望者には上部消化管内視鏡もモデルを用いて基本操作を習得したのちに、実際の検査で学ぶ機会を設けています。救急疾患に関しても、診察から検査、処置を指導医と一緒に担当することで消化器内科で経験すべき救急疾患の初期対応を学べるようにしています。

